福祉のまち／安心して暮らせる都市 ”みはら”とは Vol.1

「福祉のまち／安心して暮らせる都市」
～第4次三原市長期総合計画より～

① すべての人々が安心して暮らせる都市
② 一人ひとりに対応した細やかな福祉が充実した都市
③ 住民、企業、行政などが参画し、お互いが理解し合い、社会全体で支え合える健康・福祉の都市

私たちのまちでは、保健福祉学園都市構想が策定されており「福祉のまちみはら」という声も良く聞きます。しかし現実はどうなのでしょうか。はたして、みはらが目指す「福祉のまち／安心して暮らせる都市」とは何なのか、そもそも市民が求める、若しくは理想とする「福祉が充実した社会」とは何なのか、皆さんはそれらのことを具体的にイメージできるでしょうか。私たち三原青年会議所は、本年度1年をかけてその姿を求めてゆきたいと思います。

第1回目の今回は、みはらの現状を探る中で、これからの動向に大きく影響するであろう「福祉用具研究会」(平成14年12月20日設立)にスポットをあててみました。設立時の会議の中で、福祉用具について説明をいただいた広島県立保健福祉大学大塚彰教授と会の発起人である広島経済同友会三原支部の甲山員司支部長にインタビューを行いました。

Q 今回、産学官連携による「福祉用具研究会」が設立されましたが。

各分野の人が一同に会し、どのような福祉のまちを作ればいいのか、どのような福祉用具を作ればいいのかを話し合い、その中から新しい産業の育成や障害者の方に喜んでいただける製品が出来れば良いと思います。今回は、寝返り用の福祉用具を発表させてもらいましたが、今後も色々なアイデアを発表し、地元の企業に製品として具現化・実現化してもらえればいいと思います。

大塚　彰　教授

Q 他にはどのような福祉用具を研究されているのですか。

昨年は福祉用具として、健康下駄の研究をしていました。通販会社にも製品化の話もありましたが、デザイン等の問題で中断しています。

甲山　員司　支部長

Q これからの研究会の活動について

毎月1回第一金曜日に県立保健福祉大学にて開催します。当面は当大学から現在研究している内容の発表や福祉用具を利用されている方からの改善要望の発表等を行っていく予定です。福祉用具の研究はもとより、安心して暮らせるまちづくりのため、徹底したニーズの掘り起こしや情報収集にも努めたいと思います。産学官連携による取組みとして、この研究会の中から新たな産業が育成し、福祉の充実したまちづくりへの一助となればと思います。

今回のインタビューで、福祉の社会というまち全体に関しての内容はあまり聞けませんでしたが、福祉産業に関して、大学の持つハイテク研究施設を活用する地元企業の少なさと、反対に身近なアイデアを大学と共に研究することに対する敷居の低さのようなものを感じました。この大きな可能性のある大学をどんどん活用して、私たちの住むまち「みはら」の発展に繋げてゆかなければならないと改めて感じました。次号からもこのテーマに関して連載してゆきますが、皆さんからのご意見もお待ちしておりますので、ご投稿をよろしくお願いします。

～お知らせ～
「福祉用具研究会」
日時：毎月第1金曜日　午後6時～8時（8月は休み）
場所：広島県立保健福祉大学
お問い合せ先：三原商工会議所　担当：森山

わがまちよ、活力を見出せ! Vol.1

リストラ、デフレ、不良債権・・・メディアを通して連日のように響きの良くない言葉を耳にしますが、私たちの住むまちにとっても例外ではありません。こんな時代だからこそ私達青年会議所メンバーの行動力ある若い力が必要だと自負しています。何とかこの閉塞感を吹き飛ばせるよう、本紙「やっさもっさ」では、活気溢れる地域を求めて「地域経済」というテーマに取り組みます。

この地域経済がよみがえるひとつの可能性として、日本政府が推し進める構造改革のひとつ「構造改革特区」構想があります。

お金を使わず、まちを活性化!?

構造改革特別区域法の目的（首相官邸ＨＰより）

地方公共団体の自発性を最大限に尊重した構造改革特別区域の設定を通じ、教育、物流、農業、社会福祉、研究開発等の分野における経済社会の構造改革の推進及び地域の活性化を図る。

これは、国や各省庁が長年持っていた無駄と思われる規制や大きすぎる権限などを取っ払って、日本全国のそれぞれの地域、特性に合った、独自のプランを各地域の行政、民間機関からアイデアを募り地域を活性化するという「平成の長崎出島」「平成の楽市楽座」構想のようなものです。お上に伺い予算をつけて何とかしてもらおうというのではなく、自分の地域のことは自分で考え、責任を取るという、これこそまさに「官から民」「中央から地方」へ権限を委譲する地域主権社会構築のひとつになると思います。この構想の良い点として、従来の景気対策によく使われた公共事業への投資という莫大な税金を使用しないことがあります。お金を使わず、頭を使うという現在の厳しい財政に対して非常に優しいものとなっています。この特区構想を、横並び意識のある自治体が、特区構想を活用しないとなれば、活用する他の自治体と大きな差がつき、日本国内においても「南北格差」「東西格差」が生まれるということが危惧されます。

我々ＪＣは、近年「協働のまちづくり」を提唱し続けてきました。これこそまさに、行政、民間（住民）がひとつになってこのまちの将来について、地域経済の活性化について大きな議論が巻き起こせるものだと思います。次回は、行政や企業から提出された他の地域の事例と、みはらの取り組みを紹介したいと思います。

この記事を読まれた読者の皆さん！
このまちを活気づける特区案をお寄せ下さい。

iSグループ　アイフルホーム三原店　㈱愛和テクニカルサービス　赤石硝子建材　㈱赤谷木材　㈲安芸緑化機材　浅田公認会計士事務所　あまの歯科・矯正歯科クリニック　イオン㈱・ジャスコ三原店　池本興業　居酒屋あやか　㈲スナック石垣　糸崎木材㈱　㈲上田製版印刷所　上田鉄工㈱　上田正樹公認会計士事務所　USUKEBOU　うなぎ中ウツミ　宇野税理士事務所　栄和商事㈲　エトワール大池　NRK保険事務所　エヌワイティグループ　㈲ふるさとエルサ　大下建設㈱　大東印刷㈱　大成土地家屋調査士事務所　岡本電機㈱　岡崎商店㈱　オギノパン㈱　オクノブ食品㈱　お茶の平野園㈲　小野税理士事務所㈱マネージメント・ブレインズ　尾道ダイハツ販売三原　ピアノラウンジ帯　笠下工務店㈲　勝不動産㈱　勝原木材商店㈱　勝村木材㈱　加藤食品㈲　カネツナ㈱　カネダ漢方薬品㈱　かねしょうレストラン　カメラのファースト㈲　上田商店㈲　しまなみしんきん　ガルバ興業㈱　関西機工商会三原営業所　関西通商㈱　関西薬品㈱　カンモト・ワーク・ビュー　完山商店　キカワ歯科医院　キダ建設㈱　キヤ喜本㈲　キヤ衣料　スナックギフト　キヤメル　キリンビール共栄商事㈲　共立電機産業㈱　京屋㈱　共和不動産㈱　キヨーデン㈱　クライム　栗政電機産業㈱　啓誠塾　芸備燃料　市内4S・S　藝陽日日新聞社　小泉病院㈱　仁康会㈱　愛産業　不動産㈲　晃栄不動産　広陽フッソ産業㈱　河城石材店　コグマヤ㈱　小島洋紙㈱　コパックス㈱　ベーカーズプレイス　クレール　小松木工㈱　コマツ　五洋医療器㈱㈲　サイクルショップうらさき　㈱サービスセンター　あなたの町の郵便局　佐竹工業㈱　さくら保険㈱　サツキ工業㈱　澤井製作所㈱　三基工業㈱　三協アルミニウム工業㈱　三豊建設㈲　三陽環境管理㈱　三洋企画　広告・サイン・印刷　山陽建設㈱　山陽高速印刷㈱　山陽製粉㈱　シゲモリ本店㈱　スナックシティワン　島本建設㈱　シャトー・ラフォン・ロシェ　写真のビッグ㈱　スナックジュリアン　㈱住創　スナック娑羅　順勝寺㈱　正田文華堂㈱　城南観光　如水館中学高等学校　フォレストセレモ　新栄会館　新宅建設㈱　砂田建設㈲　砂田歯科医院　スミダ㈱　セイム㈱　誠和工業㈱　セブンイレブン三原駅前店　セブンイレブン三原宮浦店　ソナリア&ベッド館　第一歯科医院　大建㈱　大同建設株式会社　ダイショウ車両㈲　大日ヘルスショップ　タイヤコーナーシゲタ　ダイヤ石油㈱三原給油所　大陽㈲建設業　田尾石油㈲　田中運輸㈱　田中組三原支店㈱　たなかの「ラーメン家」　竹野八百屋　㈲高山ペットショップ　田辺製麩工場㈱

本誌〝やっさもっさ〟は、㈳三原青年会議所の自主財源と